

反キリスト

(パート 1) アシェル・イントレータ

2014年1月10日

聖書に登場する人物で「罪の人（新改訳では不法の人）—悪 100%の権現（第 2 テサロニケ 2:3）」と説明されている「反キリスト」があります。終わりの時にはこの預言を成就するただ 1 人の人がいますが、その人物はまだ明かされていません。しかし同時に「反キリスト」は、異なった時代・場所で複数の人によって成就される預言の型・パターンでもあります。**第 1 ヨハネ 2:18-あなたがたが反キリストの来ることを聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現われています。それによって、今が終わりの時であることがわかります。**

この聖句では、預言が 2 重に成就することが見えてきます。ひとつは単数形で、固有で、未来形なもので、もうひとつは現在形で何度も起こるものです。預言はこのように、ひとつは終わりのときの成就と、現代における適応というように 2 次的に検討される必要があります。従って終末預言の成就には 2 つの異なったタイミングがあるように見えます。ひとつは現在で、緊急に、全て時代において、もうひとつは究極的で、最終的で、最後の時代に起こるのです。

預言が現在と未来という、2 重のタイミングがあるのであれば、預言を解釈するのにも、緊急にと究極的にという 2 つの次元で捕える必要があります。

第 1 ヨハネ 2:22-偽り者とは、イエシュアがメシアであることを否定する者でなくてだれでしょう。御父と御子を否認する者、それが反キリストです。

「反キリスト」は偽りの霊です。私たちの文化、メディア、学界、宗教、...私たちの思考にさえ、微かながらも「偽り」が染み込んできており、それらは神さまとイエシュアへのシンプルな信仰や献身に反対するものです。

終わりの時の反キリストがあり、時代を通じての反キリストたちがある他に、私たちの肉体の中に棲む反キリストの霊があります。それは傲慢さや反抗心であり、私たちの人生における神の権威を否定しようとするものなのです。

ババ・サリ

ロニ・レジュワン

イスラエル南部の街ネティヴオットは、カバラ主義と神秘主義ユダヤ教の中心地のひとつです。40 年以上も前に死んだババ・サリ（ラビ・イスラエル・アブハゼラ）は奇跡の人として知られています。ネティヴオットでは毎年、彼を記念して「ヒルラ」と呼ばれるにぎやかな

祭りが催されています。今年はサリの孫が「ババは死んでいません。彼の魂は現在も存在し、私たちの中に棲んでいます。彼に祈るならば、彼は癒し、救いを与え、国があがなわれます。」と宣言し、イスラエル TV やラジオで放送されました。

今日イスラエルには、多くの超正統派のグループがあり、それぞれのラビが、その生死に関わりなく、ある種の「メシア」だと信じられています。このことは救いへの深い待望感を表しているながら、私たち民族が複雑な宗教的偽わりに蝕まれていることをも示しています。真のあがないに対し彼らの目が開かれるよう、お祈りください。

エジプト

今週、シシ将軍主導の現行連立政権により提議された、エジプトの新憲法に対する投票が開票されました。ムスリム同胞団は、イスラム政党が直接的な政府支配から分離されるよう意図された、この憲法を拒んでいます。この憲法が可決されると、議員と大統領の選挙の日程が策定されます。

今週、1万人もの労働者が農業地区テナタで、シシを支援し、彼が大統領選に出馬するよう呼びかけるデモを行ないました。シシは現在のところ、エジプトで最も影響力のある人物と見なされており、安定と治安および民主的國家への希望としての可能性を持っています。エジプト社会の回復のためお祈りください。

難民か不法移民か

約 53,000 人もの不法移民が難民申請と職を求めてイスラエルにきています（エリトリアから約 35,000、スーダンから約 13,000、残りがコンゴやエチオピア等他のアフリカ諸国から）。イスラエル社会は、彼らを保護が必要な難民として見なすのか、それとも国外退去させるべき不法移民と見なすのかで意見が分かれています。どうぞ私たちの内務大臣ギデオン・サアルに知恵が与えられ、正義がなされるようお祈りください。

バベルの呪いをあがなう？

トロイ B. フレス

創世記 11:1 で「さて、全地は一つのことば、一つの話しことばであった。」と書かれています。共通の言語を持った、統一された人々は神に反抗しました。神は彼らの言語を混乱させ、彼らを地球の至る所に散らしました。今日、膨大な種類の言語が世界中で話されているのは、その出来事の結果なのです。

先日、私はカンザスシティー国際祈りの家でのリーダーシップ・サミットに参加しました。祈りとディスカッションのテーマのひとつは、この先 10~20 年の間に聖書が、知られている限りの、世界で話されている全ての言語に翻訳される可能性についてでした。私たちが祈っていると、主がわたしの心に「聖書の内容の考え方や概念が全ての言語（訳注：言語は「舌」）に訳されたとき、世界中のイエシュアを信じる者たちは、共通の言語が与えられる。」と語られました。その時にも多くの言語、民族、人種が引続き存在しますが、各言語のグループにおける残された者たちは、聖書的真理からのことばを共通語として持つのです。

地上の各言語のグループのうちに残された者たちが、聖句で神さまに祈り、讃美すると、どれほどのパワーが生まれるか創造できるでしょうか(黙示録 7:9-11)。それは私たちの統一された反抗からの呪いをあがなうでしょう。どのように？私たちが罪にまみれていた当時に造られたそれらの舌で、神さまを讃えることによってです。創世記 11:6 節は、1つの言語では「（私たち）がしようと思うことで、（私たちが）とどめられることはない。」どうぞ、このプロジェクトが私たちの世代のうちに完成しますようお祈りください。